



株式会社 昭和真空

第55期

報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

JASDAQ

証券コード：6384

One vanguard of the digital revolution



「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える昭和真空

トップメッセージ

厳しい環境が続くものの、
黒字を確保しました。

原価低減や固定費削減により 利益率は改善しました。

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、震災復興需要を中心とした公共投資や政策効果等に支えられ、また、平成24年12月の新政権誕生による期待感から超円高の是正や株高基調に転じたことで回復への期待感も見られましたが、長引く欧州の債務危機や新興国経済の減速などの影響もあり、総じて厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォンやタブレットPCなどの高機能携帯端末市場が、当社グループの主要な取引先である水晶、光学、電子など各デバイス業界を下支えしたものの、先行きへの不透明感から設備投資に対する姿勢は慎重であり、全般的に低調に推移しました。

こうした環境の中、当社グループは厳しい環境下でも成

長している市場を捉え、中国、台湾を中心としたアジア市場に対し拡販に努めてまいりましたが、厳しい状況が続きました。

生産面では、在庫部品の積極的な活用、グローバル調達および効率的な生産の推進等により原価低減に努めてまいりました。

損益面では、売上高は前期からの受注案件について順調に推移したものの、取引先業界各社の増産設備投資に対する慎重な姿勢により、受注が厳しい状況で推移したこともあり、当初計画を下回りました。一方で、利益率はグループ丸となって取り組んでいる原価低減の推進や固定費削減の積み重ねにより改善しました。

この結果、当期の業績は、受注高56億91百万円（前年同期比0.8%増）、売上高75億21百万円（同6.1%増）となりました。

損益につきましては、経常利益47百万円（前年同期は3億89百万円の経常損失）、当期純利益69百万円（前年同期は15億39百万円の当期純損失）となりました。

代表取締役社長

小俣邦正

Kunimasa Omata



技術革新、アフターサービスの充実などを 図ることで、受注を安定して確保できる 基盤づくりに努めます。

今後の見通しにつきましては、世界経済の緩やかな持ち直しが期待されることから、わが国経済も景気回復への期待感はあるものの、潜在する欧州債務問題や新興国経済の減速など、世界景気の先行きの不確実性は大きく、引き続き厳しい状況で推移することが予想されます。

当社グループを取り巻く事業環境を見ると、主要顧客である各デバイスメーカーの海外生産へのシフトが大きく進み、また、海外の現地デバイスメーカーの台頭も顕著となる中で、各デバイスメーカーにおける価格競争や受注競争は従来にも増して激しくなるものと思われま。しかし、スマートフォンやカーエレクトロニクス関連市場がデバイスメーカーを下支えする形で推移し、ユーザーの設備投資も徐々に回復してくるものと予想されま。当社グループとしましても、より一層の技術革新を推

し進めると同時に、装置基本性能の信頼性向上とアフターサービスの充実を図ることで、顧客の業績に貢献できる生産設備を提供し、受注を安定して確保できる基盤づくりに努めてまいります。

今後も安定した利益還元を 目指してまいります。

当社は、株主様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。業績の伸長度に応じた安定的な経営基盤の確保および財務体質の健全性の維持を勘案しつつ、安定した利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としております。

なお、株主様への配当は1株当たり10円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

製品紹介

LEDデバイス向け 電極形成用スパッタリング装置 SPC-4515LD



「長寿命」「高輝度」「熱線・紫外線が少ない」などをはじめとする特長を持つLEDは、一般的な照明器具はもちろんのこと、防虫・防水効果やその視認性の良さから、道路交通表示板や信号灯、携帯端末のバックライトなど、さまざまな分野で採用されています。当装置は、LEDデバイスの生産工程に不可欠な電極形成用の装置です。

当装置はカルーセル型（基板を装置の中で回転させながら成膜する方式）を採用したことで、スパッタリング装置でありながら低温成膜を可能としました。これにより、フォトレジストが塗布されたLED基板に対して、フォトレジストを変形・蒸発させることなく付着強度のある良質の成膜を可能としています。

スパッタ室には、5インチ×15インチマグネトロンカソードが4式搭載されており、DCスパッタ方式にて、4種類の金属膜を成膜することができます。2インチ基板では1バッチで96枚を処理することができます。また、基板のパレットを表から裏に反転させることで両面成膜ができ、装置の設置面積当たりの生産性を向上させた装置です。



「光と電波」

情報通信・デジタル家電を支える
社会と産業に力強く貢献しています。

キーテクノロジーは 「真空技術」

真空技術はスマートフォンやデジタルカメラなど、さまざまなハイテク最終商品を作るうえで必要不可欠ですが、真空技術で最終商品を直接製造しているわけではありません。例えばスマートフォンには根幹部品として温度補償水晶発振器(TCXO)が組み込まれていますが、その水晶発振器を作る工程で真空技術応用装置が使用されているのです。他にもカメラのレンズ、さまざまな光学フィルタ、液晶表示パネルなどを製造する際にも真空技術応用装置が使用されています。

こんな製品の製造に活躍します。

▶ スマートフォン

タッチパネル

- 反射防止膜
光の反射や映り込みを防ぐ
- 透明導電膜
透明で電気を通す薄膜
- 水晶振動子

無線通信モジュール

- SAWフィルタ
飛び交っている電波の中から使いたい周波数だけを通す
- TCXO(温度補償水晶発振器)
- 温度補償回路により、温度による周波数変化を少なくする
- 無線回路やGPS回路に使われる



カメラモジュール

- 反射防止膜
- ジャイロセンサー
手ぶれを補正

クロックモジュール

- 音叉振動子
主に時計用の周波数をカバー

GPS(位置検出)

- TCXO

ベースバンド部

- 水晶振動子
音声をデジタル信号に変換

製品外装

- 装飾ミラー膜
- 電磁シールド膜
電磁波を遮蔽

▶ タブレットPC

カメラモジュール

- 反射防止膜
- ジャイロセンサー

無線通信モジュール

- SAWフィルタ
- TCXO

タッチパネル

- 反射防止膜
- 透明導電膜



GPS(位置検出)

- TCXO

製品外装

- 装飾ミラー膜
- 電磁シールド膜

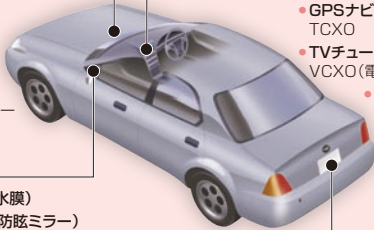
▶ 自動車

安全・セキュリティ系

- キーレスエントリー
水晶振動子、SAW共振器、SAWフィルタ
- ABS
音叉振動子、圧力センサー
- エアバック
ジャイロセンサー

情報通信系

- マイコン
水晶振動子、SPXO(水晶発振器)
- GPSナビゲーション、無線回路
TCXO
- TVチューナー
VCXO(電圧制御水晶発振器)
- ETC
タイミングデバイス



内装・外装系

- ドアミラー(親水膜)
- ルームミラー(防眩ミラー)
- エンブレム、ヘッドライトなど

運転支援等

- バック(フロント・サイド)モニター
カメラモジュールレンズに反射防止膜

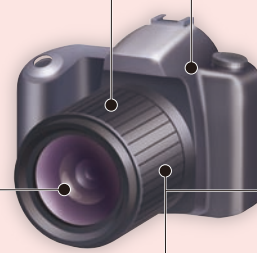
▶ デジタルカメラ

ローパスフィルタ

ストライプや網目状のものを撮影したときに現れるスジ上のちらつき「モアレ」を退治

水晶デバイス

- ジャイロセンサー
- 音叉振動子
時刻表示やカレンダー機能などをコントロール
- AT振動子
デジタルカメラの基本動作をコントロール



レンズ

- 反射防止膜

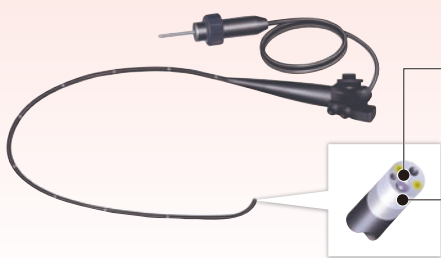
色分離フィルタ

- 3原色分解能フィルタ
任意の光(色)を取り出す

色分離プリズム

- 3原色分解能ミラー
特定の波長の光を反射し、その他の波長の光を透過

▶ 内視鏡



レンズ

- 保護膜
汚れやキズから守る
- 反射防止膜

色分離フィルタ

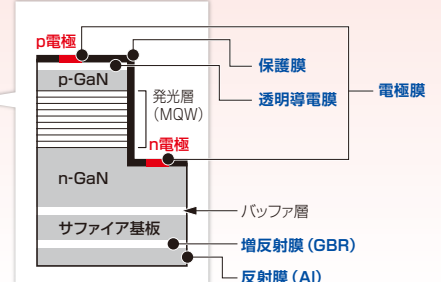
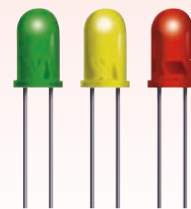
- 3原色分解能フィルタ

色分離プリズム

- 3原色分解能ミラー

▶ LED

LEDチップ断面構造図



当社グループは、真空技術をキーテクノロジーとして、 電子デバイス用薄膜装置の開発、製造、販売および アフターサービスを提供しています。

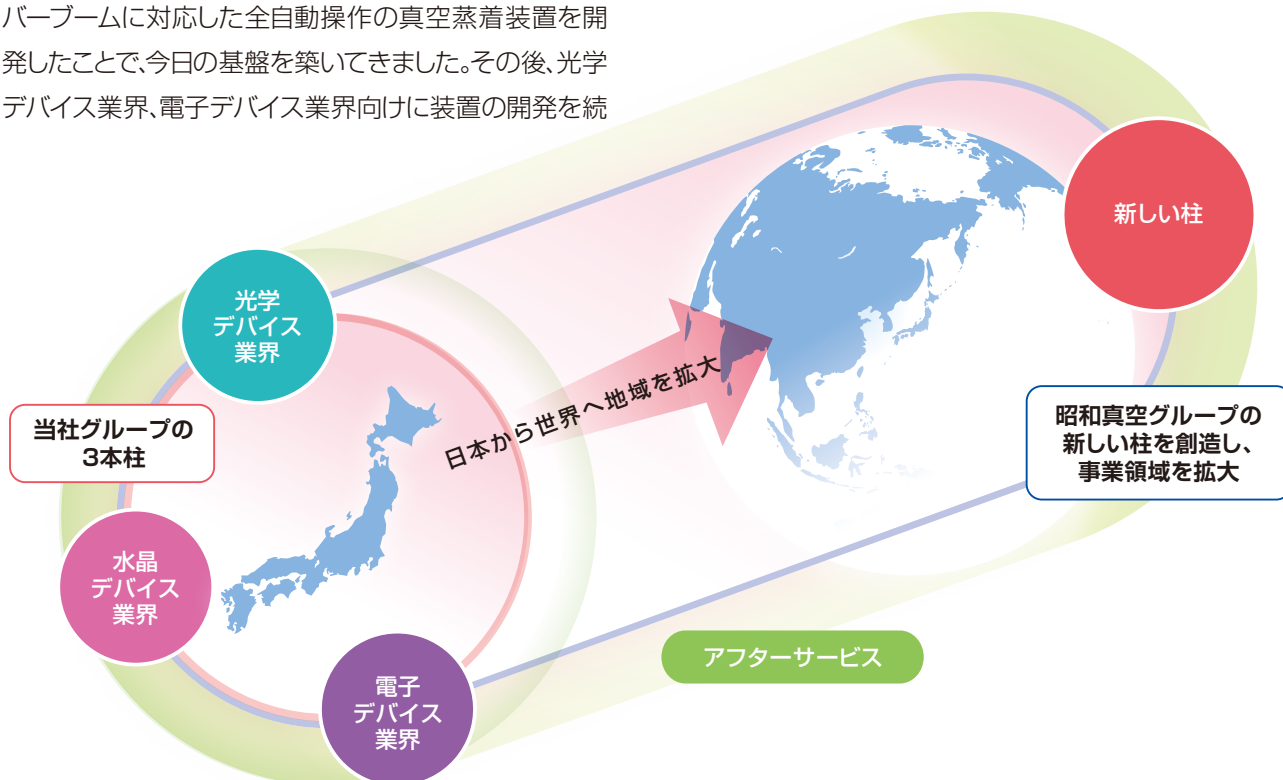
私たちは、「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える昭和真空”を合言葉に
「成長するニッチ市場へフォーカスしてオンリーワンになる」「技術力による差別化と独自性を発揮する」
「徹底したコストダウンにより低価格を実現する」を基本方針として、
これからもお客様のご要望に応え、その発展に貢献することで、
お客様のお役に立つ存在価値のある企業グループであり続けることができると確信しております。

当社グループの特長の一つとして「多品種少量個別受注生産」があります。当社グループが扱う装置は、お客様のご要望を形にした、いずれも特徴ある働きをする電子デバイスの製造を行うものばかりです。当社グループが長年培ったノウハウと技術力をベースに、お客様の個別のご要望に対応して製造、納入された装置は、その一つひとつがオリジナルであり、当社グループにとってかけがえのない財産となっています。また、当社グループならではのアフターサービスの充実との相乗効果により、さらなる顧客満足の向上につなげ、今後の事業基盤を確固たるものにしていきます。

創業(1953年)当時にはじめた真空ポンプの修理から、当社の歩みがスタートします。その後、真空ポンプの製造を開始し、1960年には水晶デバイス業界に進出、世界的なクォーツ時計ブームや、米国でのCBトランシーバーブームに対応した全自動操作の真空蒸着装置を開発したことで、今日の基盤を築いてきました。その後、光学デバイス業界、電子デバイス業界向けに装置の開発を続

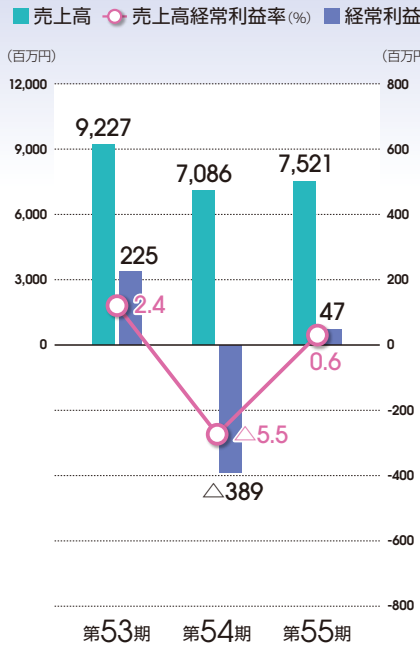
け、今では水晶デバイス業界と合わせた3本柱として、多くのお客様からご評価をいただいております。これからも歩みを止めることなく、無限の可能性を秘めた真空技術に磨きをかけ、新しい柱の創造を目指してまいります。

ご存じのとおり、日本の製造業において、生産拠点のグローバル化が大きく進展しました。当社グループのお客様も例外ではなく、中国を中心としたアジア全域に進出しております。また、海外のデバイスメーカーの台頭も顕著となってきており、日系企業だけでなく、現地企業への納品も増加傾向にあり、世界中で当社グループの装置が稼働している状況にあります。現在、お客様の海外移転に対しては、上海にある子会社2社を中心にサポートをしておりますが、当社グループを知っていただき、装置を末永く、安心してご使用いただくための体制づくりにも力を入れてまいります。

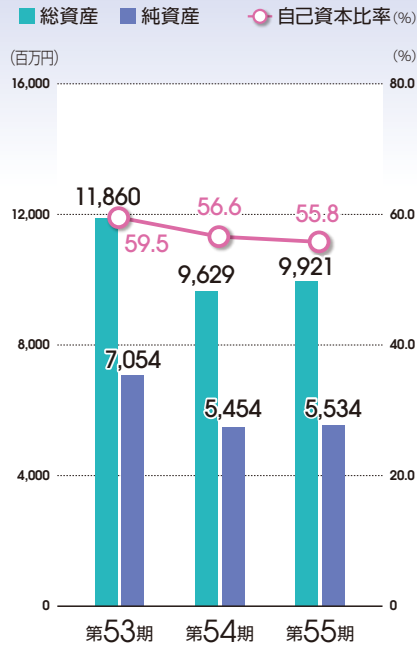


原価低減や固定費削減の地道な積み重ねにより利益率が改善しました。

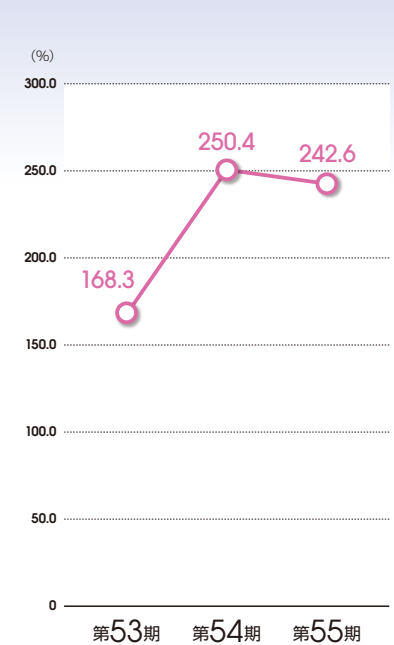
売上高・経常利益・売上高経常利益率



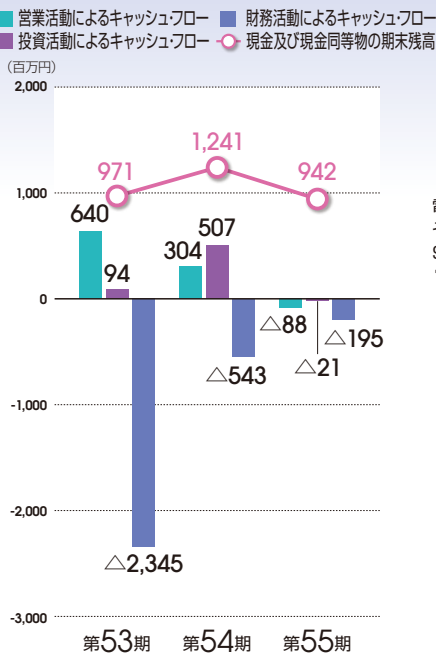
総資産・純資産・自己資本比率



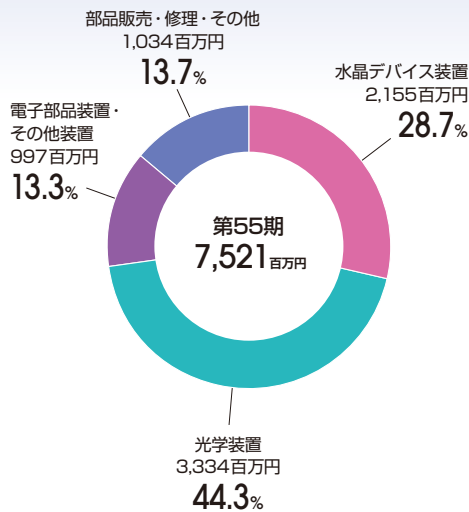
流動比率



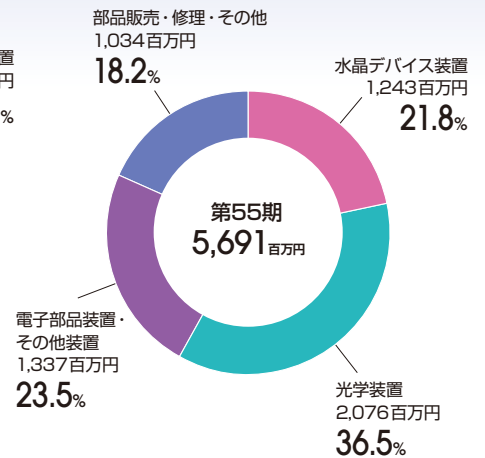
キャッシュ・フロー



品目別売上高構成比



品目別受注高構成比

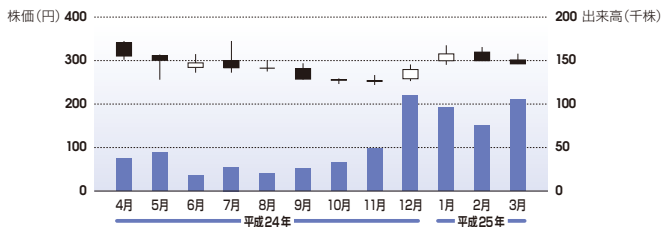


株式の状況

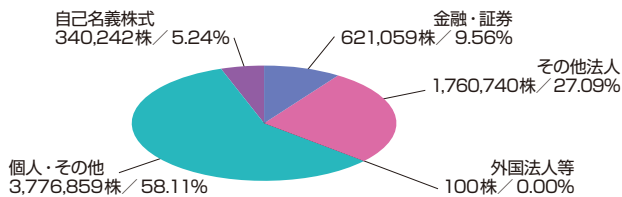
発行可能株式総数 13,800,000株
 発行済株式の総数 6,499,000株
 株主数 2,654名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.59
小侯邦正	567,600	9.21
有限会社小侯興産	381,440	6.19
株式会社昭和真空	340,242	—
昭和真空従業員持株会	285,052	4.62
株式会社三菱東京UFJ銀行	152,200	2.47
日本生命保険相互会社	144,000	2.33
小侯佳子	120,000	1.94
小侯輝明	120,000	1.94
小侯みつこ	120,000	1.94
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55
株式会社横浜銀行	96,000	1.55

株価および売買高の推移(月次)



所有者別株式状況(株式数)



株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同送付先・連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
 野村證券株式会社 全国本支店
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
 基準日 3月31日
 その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公
 告いたします。
 配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当金の支払を行う時は9月30日
 公告掲載方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告に
 よることができない場合は日本経済新聞に掲載する。
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

IRカレンダー 第56期 (平成25年4月~平成26年3月)

5月	第55期 決算発表・決算説明会	11月	第56期 第2四半期決算発表・ 決算説明会
6月	第55回 定時株主総会 経営報告会 有価証券報告書提出	2月	第56期 第3四半期決算発表
8月	第56期 第1四半期決算発表	3月	31日 第56期 決算日

会社の概要

商号 株式会社昭和真空
 設立 1958年(昭和33年)
 資本金 2,177,105,200円
 従業員数 188名
 営業種目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの
 総合的な真空関連装置並びに真空機器等
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンエッチング装置、
 イオンプレーティング装置、ドライエッチング・アッシング装
 置、真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜
 用モニター(多色式、単色式)、IAD冷陰極イオンソース、
 液晶注入装置、有機EL用蒸着装置、その他
 取引金融機関 三菱東京UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、
 八千代銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

事業所

本社・相模原工場
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10
 TEL. 042-764-0321 / FAX. 042-764-0329
 大野台パーツセンター
 〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台二丁目27番2号

役員 (平成25年6月25日現在)

代表取締役社長	小侯 邦正	取締役	佐藤 孔史
執行役員	市川 正	監査役(常勤)	村木 由之亮
取締役執行役員	高橋 理	社外監査役	千葉 睿一
取締役執行役員	久島 博美	社外監査役	中村 孝男
取締役執行役員	田中 彰一		

グループ会社および関係会社

【グループ会社】

- 昭和真空機械(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置の生産
- 昭和真空機械貿易(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置・部品の販売、
サービス・メンテナンス
- 株式会社エフ・イー・シー
 - 所在 埼玉県狭山市
 - 主な事業内容 マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売

【関係会社】

- Sansei-Showa Co., Ltd. USA
 - 所在 米国オハイオ州



ホームページのご紹介

トップページ

<http://www.showashinku.co.jp/>
 ホームページでさまざまな情報をご覧いただけます。

「株主・投資家の皆様へ」トップページ

<http://www.showashinku.co.jp/ir/>
 株主の皆様には有益なIR情報はこちらをご覧ください。



ULVACGROUP

株式会社 昭和真空

本社・相模原工場

〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062-10
 TEL. 042-764-0321 FAX. 042-764-0329
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

(証券コード: 6384)